

全国公共図書館協議会

2017年11月24日

(〒106-8575 東京都港区南麻布5-7-13 東京都立中央図書館内)

目次

平成29年度全国公共図書館協議会定期総会報告……………	1
平成29年度表彰者……………	3
「資料デジタル化及び利用に係る関係者協議会」の動向……………	5

＝平成29年度全国公共図書館協議会定期総会報告＝

総会は、平成29年6月30日（金）に東京都立多摩図書館において開催されました。出席者は83名、委任状提出者は656名でした。議事は、次の事項について報告、協議が行われ、提案どおり承認されました。

1 定期総会議題

協議事項

- (1) 平成28年度事業報告
- (2) 平成28年度決算
- (3) 平成28年度会計監査報告
- (4) 平成29年度事業計画（案）
- (5) 平成29年度予算（案）
- (6) 平成29年度表彰（案）

報告事項

- (1) 「資料デジタル化及び利用に係る関係者協議会」の動向等
- (2) その他



2 平成29年度事業計画

(1) 総会及び理事会

ア 総会

期 日 平成29年6月30日（金）
場 所 東京都立多摩図書館

イ 理事会

第1回 期日 平成29年5月24日(水)

場所 東京都立中央図書館

第2回 日時 平成30年1月下旬～2月上旬(書面開催)

(2) 研究集会

日 時 平成29年6月30日(金)

場 所 東京都立多摩図書館

テーマ 図書館とオープンデータ

講 師 国立情報学研究所 准教授 大向 一輝 氏

(3) 調査研究事業及び情報活動等

ア 調査研究事業

平成29年度は、平成28年度に実施した「公立図書館における地域資料サービス」に関する実態調査を分析し、報告書にまとめる。

イ 情報活動

ニューズレターを年2回発行する。

ウ 表 彰

表彰規程により実施する。

表彰者 97名

(内訳)

図書館職員 73名

図書館長 1名

図書館協議会委員 23名

3 決算及び予算

(1) 平成28年度決算

収入済額 3,118,642円

支出済額 1,705,536円

繰越額 1,413,106円

(2) 平成29年度予算

予算額 2,924,806円

平成29年度 全国公共図書館協議会表彰者

1	岩 田 昇	(北海道)	32	小野塚 伊津美	(東京都)
2	高橋 真二郎	(岩手県)	33	小池 信彦	(東京都)
3	鎌田 三千子	(宮城県)	34	落合 美代	(東京都)
4	三文字 容子	(宮城県)	35	菊池 久美子	(東京都)
5	桑野 聡	(福島県)	36	小川 吉夫	(東京都)
6	小林 光子	(茨城県)	37	保月 信子	(東京都)
7	笹目 克夫	(茨城県)	38	篠崎 淑子	(神奈川県)
8	菅澤 宣昌	(茨城県)	39	山内 正伸	(神奈川県)
9	伊藤 敦子	(栃木県)	40	忠鉢 浩子	(神奈川県)
10	永井 和子	(栃木県)	41	依田 一	(神奈川県)
11	花村 幸子	(栃木県)	42	佐藤 恵輔	(神奈川県)
12	水沼 昌子	(栃木県)	43	奥津 良子	(神奈川県)
13	山崎 喜郎	(栃木県)	44	松沢 和美	(神奈川県)
14	寺澤 敬子	(群馬県)	45	山内 菜穂子	(神奈川県)
15	吉岡 義久	(埼玉県)	46	堀井 敦子	(神奈川県)
16	小熊 ますみ	(埼玉県)	47	市川 純子	(神奈川県)
17	吉田 博	(埼玉県)	48	柳田 一	(神奈川県)
18	上原 徳子	(埼玉県)	49	小峰 康雄	(神奈川県)
19	谷口 美和	(埼玉県)	50	原 ゆかり	(神奈川県)
20	丸山 千代子	(埼玉県)	51	浅見 佳子	(神奈川県)
21	目黒 妙子	(千葉県)	52	島田 昌美	(富山県)
22	白井 喜夫	(千葉県)	53	小林 京子	(石川県)
23	亀村 喜代子	(千葉県)	54	西田 良治	(石川県)
24	大竹 弘美	(千葉県)	55	上田 弥生	(山梨県)
25	鈴木 祥子	(千葉県)	56	北山 ひろみ	(長野県)
26	岩井 敏	(千葉県)	57	原 博男	(静岡県)
27	加藤 竜治	(千葉県)	58	野崎 美津子	(静岡県)
28	宮原 みゆき	(千葉県)	59	松永 智博	(静岡県)
29	吉田 千依	(千葉県)	60	遠藤 民子	(静岡県)
30	藤尾 善之	(千葉県)	61	佐野 裕子	(静岡県)
31	佐藤 眞一	(東京都)	62	浦岡 千佳	(愛知県)

63 中村 由美 (愛知県)
 64 西比呂子 (愛知県)
 65 児玉 陽子 (愛知県)
 66 片桐 和子 (愛知県)
 67 田中 里枝子 (愛知県)
 68 久我 真喜子 (愛知県)
 69 深田 正義 (愛知県)
 70 近藤 輝和 (愛知県)
 71 柴田 容子 (京都府)
 72 小山 雄一 (京都府)
 73 白川 咲子 (大阪府)
 74 松野 理史 (大阪府)
 75 家近 伊作 (大阪府)
 76 小畑 由季 (大阪府)
 77 岡田 真理 (大阪府)
 78 喜多 由美子 (大阪府)
 79 溝内 亜貴子 (大阪府)
 80 末廣 雅彦 (兵庫県)
 81 小浦 慎治 (兵庫県)
 82 森 明子 (兵庫県)
 83 平澤 佐千代 (奈良県)
 84 脇本 敦子 (奈良県)
 85 三木 幸子 (和歌山県)
 86 清友 久美子 (岡山県)
 87 藤田 みどり (岡山県)
 88 原 浩子 (岡山県)
 89 久永 真弓 (広島県)
 90 野口 雅子 (広島県)
 91 高田 博子 (徳島県)
 92 松永 茂 (福岡県)
 93 橋爪 伸子 (佐賀県)
 94 神田 紀子 (長崎県)

95 北川 新一 (長崎県)
 96 大浦 美知子 (長崎県)
 97 山岸 治男 (大分県)

表彰者総数	97名
(内訳)	
図書館職員	73名
図書館長	1名
図書館協議会委員	23名

◇「資料デジタル化及び利用に係る関係者協議会」

平成 29 年度の開催状況、協議内容等は以下のとおりです。

【開催状況】

平成 29 年度第 1 回 平成 29 年 6 月 2 日（金）

【主な報告事項】

1 資料デジタル化の進捗状況

デジタル化資料の累積提供状況について、図書：約 97 万 2 千冊、雑誌：約 127 万 4 千冊となった旨の報告があった。

平成 28 年度予算は約 1 億円であり、図書：約 530 冊、雑誌：約 1,100 冊、古典籍資料：約 420 冊、憲政資料：約 950 冊のほか、カセットテープ等のデジタル化を行った。

平成 29 年度予算は約 2 億円であり、そのうちの 1 億円については、平成 28 年度と同様の方針で、その余の 1 億円については、学術雑誌、マイクロフィルムについて、デジタル化を推進していく。

2 視覚的作品等を主体とするデジタル化資料の館内複写の実施状況

平成 25 年 8 月 30 日から開始している、視覚的作品等を主体とするデジタル化資料の館内複写サービスについて、館内複写全体に占める割合は多くはなく（約 3%）、安定的に推移している。

なお、平成 29 年 1 月から提供された漫画については、「冒険王」、「まんが王」、「ぼくら」、「ゼンティーン」、「少年」など、時期としては、1950 年代、60 年代が多く、1 月当初は月間 1,553 件のぼったことが報告された。

委員からは、これまでの写真等の合計が月間百件程度で推移してきたことに比べて、ここまで利用されるならぜひ OCR もかけてほしい、漫画のコンテンツとしての魅力は当初の想定以上であり、こんなに読まれるのは意外だったとして強い関心が示された。

3 図書館向けデジタル化資料送信サービスの資料点数について

図書館送信資料点数について、図書：約 55 万 2 千冊、博士論文：約 11 万 6 千冊等となった。

4 図書館向けデジタル化資料送信サービスの実施状況

承認館 815 館（そのうち、公共図書館は 444 館）

実績を見ると、全体的には、閲覧が増加傾向にあり、国会図書館としては、ポスター及びちらしを平成 28 年 12 月に参加館に送付するなどの効果が見られたと捉えている。

図書館別の割合の推移を見ると、政令指定都市立図書館、市区町村立図書館での閲覧利用が増加し、大学図書館での閲覧利用が減少しているとの説明があった。

本件の説明については、複数の委員から、平成 29 年 1 月から 3 月までの間は大学の入試シーズンでもあることから、その影響が大きいのではないかと指摘があった。

また、委員から、国会図書館がエンドユーザーからの意見を聴取した際、どのような意見があったのか教えてほしいとの質問があった。国会図書館からは、「使用できる端末の制限を解除してもらい、自分が持ち込んだ端末でも閲覧したい」、「複数の資料を同時に閲覧することができないので不便である」、「もっと制度を PR してほしい」などの意見が出たとの回答があった。

【その他】

- ・著作物等のアーカイブ化の促進について

文化庁から、「文化審議会著作権分科報告書」（平成 29 年 4 月）における著作物等の保存に関する主な課題への対応について、その要旨が報告された。

なお、文化庁としては、説明日現在、著作権法改正案の成立に向けて取り組んでいたが、国会が終了した現在の時点では、未定とのことである。